

氏名	本紙の申告内容に虚偽のないことを誓約します。(自署)	学籍番号	
----	----------------------------	------	--

申込資格に係る自己申告書

申込資格の該当部分	記入内容・注意事項	記入欄	提出する証明書類(※1)
③家庭から多額の仕送りを受けていないこと(目安:仕送り額が年間150万円以上ではないこと(※2))	2021年度実績額または2022年度予定額を記入してください。家庭が負担する授業料は含めないでください。 自宅通学者は、「多額の援助を受けていないこと」と読み替えてください。	[2021実績・2022予定] どちらかに丸 _____円(年額) [補足]	通帳の送金金額が分かる部分等、仕送りや援助額が分かる書類 提出できない場合は補足欄に事情を付記してください。
④生活費・学費に占めるアルバイト収入の占める割合が高いこと	新型コロナウイルス感染症の影響がなかった場合の割合(実績または当初予定)を記入してください。	[コロナ前の実績・予定] どちらかに丸 _____%	不要
⑤学生本人のアルバイト収入について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に減少(目安:通常月または予定と比べ50%以上減少(※2))したこと	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の平均月額とみなせる月と、大幅に減少した月の収入月額を記入してください。 比較対象がない場合(予定していたアルバイトができていない学生等)は、予定していた額を上段に、実績額(ゼロ円含む)を下段に記入してください。	[減少実績・予定との差] どちらかに丸 ____年 月 収入(通常月/予定) _____円 ____年 月 収入(減少月/現状) _____円 [補足]	左記金額の根拠となる給与明細等。 予定額との差額を申告する場合の予定額を証明する書類、アルバイトができていないことの証明書類は不要ですが、補足欄に提出できない事情を付記してください。

※1 提出できない場合でも申請は可能ですが、ヒアリング等で確認を取ることがあります。提出できない事情を付して本紙を提出してください。

※2 あくまでも目安とされていますので、目安を満たさない場合でも、ご自身の判断で申請は可能です。

■スカラネット「家庭事情欄」への記入について ※必ず指示通り記入してください。

本紙に記載したものと同一の情報を、下の例にならって番号を振り、簡潔に記載してください。(数字が異なる場合、スカラネットの情報を正と扱います)

例: ①家庭からの仕送り額: 年額〇〇万円、②アルバイト収入の割合: 〇%、③アルバイト減収状況: 〇万円→〇万円に減少/月額〇万円を予定→現状〇円、④その他、コロナ禍により学生生活の継続に支障をきたしている事情について具体的に記述